

News

中間報告会

7月23日(火)、2019年度最初の中間報告会が行われた。中間報告会とは、研究室の学生全員が研究内容や実験結果、研究方針を報告し、議論する場である。質疑応答の時間は無制限に設けられたため、先生方からのアドバイスや学生からの質問が活発に飛び交った。グループの垣根を越えて意見を貰うことで、各々今後の研究に対する意欲を向上させたようだ。



ゼミと同じように英語のスライドを作成し発表する。



今回が初めての発表だった植野晃(B4、写真右端の男性)が、無事に発表を終えて席に戻る途中の嬉しそうな表情を捉えた一枚。

ピペットマン大掃除

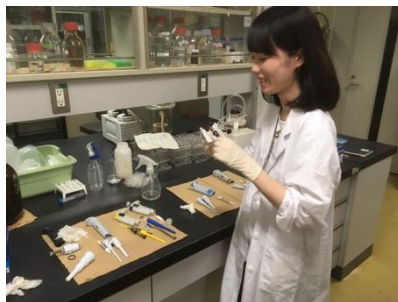
試薬を正確に測り取るピペットマンは実験には不可欠だ。7月4日(木)、研究室にある全てのピペットマンを分解して綺麗にする大掃除が行われた。様々な大きさのピペットマンを細部まで分解し、普段酷使している分愛を込めて、こ

れでもかというほど磨き上げた。分解はそれほど難しくないのだが、問題は組み立て。精密機器なのでこの作業を間違えてしまうと元も子もない。全員が一致団結し、器用な学生の手助けを受けながら最初と同じように組み立てた。

この努力がさらなる研究精度の向上に結びつくことを願うばかりである。



分解されたピペットマン達。想像していた以上にパーツが多く驚きを隠せない。ゴムパッキンが非常に小さく、ピンセットを使って取り扱った。



ピペットマンを分解する榎田麻里(M1)。半日係の大仕事で骨が折れたが、とても楽しそうな様子。

誕生日会

7月31日(水)に、7月に誕生日を迎えた研究室メンバーの誕生日会が行われた。この日が誕生日である留学生の楊筆(研究生)、1日に誕生日を迎えた竹本孝多(B4)であった。フルーツがたくさん載ったホールケーキでお祝い。楊(研究生)は写真を中国にいるご両親に送ると言ってくれた。



左からなぜか神妙な面持ちの竹本(B4)、嬉しそうにピースサインをする楊(研究生)。

誕生日おめでとうございます！
素敵な一年になりますように

フリートークスペース

皆さまお楽しみのフリートーク、今回は清水遥河(M1)です。謎に包まれた私生活を送る彼が何を語ってくれるのか…それではお楽しみください。

自称・研究室一郷土愛が深い私から、出身地である滋賀での観光について、私なりの楽しみ方をお伝えしたいと思います。

1.「琵琶湖を楽しむ」



「滋賀には琵琶湖しかない」と言われがちですが、日本最大の湖の魅力は絶大です。季節や時間帯によって表情が変わるので、いつでもレイクビューを楽しめます。意外と驚かれることが多いのですが、泳ぐこともできますし、水上アクティビティなどを楽しめるような施設もあります。淡水なので体が

ベタベタになる心配もありません。

2.「歴史的建造物を楽しむ」



お隣の京都のイメージが強い寺社ですが、滋賀にも魅力的な建造物がたくさんあります。紫式部が源氏物語を起筆した「石山寺」、天台宗の総本山「比叡山延暦寺」、漫画『ちはやふる』でも有名になった「近江神宮」がおすすめです。

3.「地酒を楽しむ」



滋賀県の半分くらいを占めるのは、琵琶湖ではなく周囲を取り囲む山々です。その山から流れ込む水と県内産の米を利用し、独自性を追求した近江酒をつくる蔵元がたくさんあります。9月には「地酒の祭典」も開催されます。

魅力的な場所がいっぱいですね。滋賀県は個人的に好きなアーティストの出身地なので、いつかゆっくり訪れたいと思っています。皆様もこの夏のお出かけにぜひ！

管理に気を付けたいと思います。来月はずいぶん竹本君が大学院入試を受験します。結果が楽しみです。

丸岡祐子(M2)

編集後記

7月はM2の就職活動も終わり、いよいよ本腰を入れて研究に取り組まねば、と心新たにした月でした。暑くなってきているので体調